

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表（令和5年度）

法人名	社会福祉法人 壺中会	代表者	河田 孝美	法人・ 事業所 の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・自身で出来る事は行って頂き出来る限り自宅での生活が継続出来るように支援致します。 ・看護師による通院介助にて病状を把握、職員に周知し病状にあった支援を致します。 ・全職員が利用者一人一人の特性を把握し個人の思いや希望を叶えるよう努力します。 ・地域の中で安心して快適な在宅生活できるよう地域の力を繋ぎ結び付け地域の人と共に支えます。
事業所名	サテライト型小規模多機能 型居宅介護事業所 アサガオ	管理者	野崎 沙紀		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	1人	人	人	1人	人	6人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	設定した目標の意識づけをしていき達成出来るように取り組んでいく。	振り返りを都度行ってきてはいるが目標達成への意識が少し低い。確認作業も不足している為、円滑に確認ができる様に工夫していく。	目標達成の為に個人・施設などその都度自己評価を行えていると思います。	目標達成出来るように苦手な部分の洗い出しをしていき不安要素を1個ずつ潰していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	室内外の整理・整頓をしていき訪問しやすい雰囲気作りをしていく。季節の花を花壇に植えて明るくしていく。	利用者の方の作品や注意喚起等の掲示物を多く飾るようにしてきた。今年度は、アサガオしか植える事が出来なく次年度はアサガオや向日葵等を植える予定にしている。	大きな看板 1 個や案内図があればアサガオへは行きつくのではと思います。	作品掲示は継続させていき活動を知ってもらえるよう工夫していく。また花壇等を利用し花を植えていく。整理整頓は継続していき訪問しやすい空間づくりを目指す。
C. 事業所と地域のかかわり	カフェを利用したり、可能な規模で茶室を使ってお茶をたてたりしつつ少しずつ地域の方とも交流を図っていく。	長春苑での喫茶には中々参加出来なかったが年度末に初めて参加する事が出来た。茶室をどう利用していくかの打ち合わせながら計画を立てていくようにする。	もっと長春苑のカフェにも参加してもらえたらと思います。	カフェや地域の活動に積極的に参加出来るように計画していく。積極的に挨拶をおこなっていき関係を築いていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	アピールする際、口頭だけではなく新聞やパンフレットを渡しながら雰囲気が伝わるように工夫していく。	地域の方が集まる会に参加しパンフレットを渡したり事業所の特色を話してきた。次年度はパンフレットをもっと分かりやすい物に工夫をしアピールを継続していく。	事業所の案内（パンフレット）などポスターみたいに皆さんが見やすい物があれば貼る事も可能。その時には必ず連絡をして欲しい。地域では花植えなんかもしている。	パンフレットの工夫、アピールを継続していく。またその中でも地域の出席可能な会には参加させていただき顔を覚えて頂く。
E. 運営推進会議を活かした取組み	新しい情報を収集しながら地域の活動に参加できるものには参加をしていく。事例検討も行っていけるようにカンファレンスでも問いかけていく。	地域の交流会には数回参加したが活動の把握が不足しており参加出来ていない。会議とは別に事例検討などももっと行っていくようにしなければならない。	包括の情報も検討出来ていると思います。また地域の問題は包括同士で共有する事が出来るのでまずは知らせてもらえたら。個人情報の事もあるが守りつつ検討もしていただける。民生委員にも協力を仰げたりするのでそういう問題は検討していきます。	新しい情報が収集した後は必ず他の職員全員で共有できるようにしていく。困難事例等あればまずは事業所で意見を出し合い、その後推進会議等で助言を頂きながら解決できるようにしていく。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>事業所での防災訓練はもちろん地域での防災訓練にも参加していただけるようにする。備品などの管理もしていき、いざという時に困らないようにする。</p>	<p>事業所での防災訓練も同じような内容になってしまっている。見方を変えて色々な場面を想定した物の訓練が必要。</p>	<p>消火器訓練をしても実際使えない人が多い。そういう人が使うと失敗になったりする。学区では今は出来ていない。地域の方の名簿は使用できないので一軒ずつ回って集めなければいけない。他の団体と情報共有が出来なくて難しい。</p>	<p>防災訓練において、マンネリ化しないように今必要な訓練を回数行えるように計画していく。備蓄品の確認は担当を含め、全員が把握できるようにしていく。事業所内外の訓練には必ず参加していく。</p>
----------------------------	--	---	--	---